

条例の点検・見直しシート

条例の題名		三重県事業認定審議会条例	作成年月日	平成24年6月29日	
条例番号		平成14年三重県条例第7号	公布日	平成14年3月26日	
所管部局課		県土整備部公共用地課	直近改正日	なし	
所管部局課		県土整備部公共用地課	電話番号	059-224-2661	
条例の概要		土地収用法第34条の7第2項の規定に基づき、三重県事業認定審議会の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものである。		条例の種類	委任型
視点	項目	回答	検討内容		
必要性	条例の目的は、制定後の時間の経過にかかわらず現在でも妥当性を有している。	はい	土地収用法第34条の7第1項の規定により、都道府県に審議会を必ず設置しなければならないことから、条例の目的は、妥当性を有している。		
	条例の対象に対して、今後も公的な関与を行っていく必要が認められる。	はい	土地収用法第37条の7第2項の規定により、審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるもので、今後も公的な関与が必要である。		
	条例に基づく事務・事業で、現在行われていないものはない。	はい	土地収用法及び条例に基づき、三重県事業認定審議会を組織し、運営している。		
	規制型の場合、現在の社会情勢の下で過度な規制となっていない。	該当なし			
	条例以外の手段で目的を達成する方法はない（規則、要綱等で規定する余地はない。）。	はい	土地収用法第37条の7第2項の規定により、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、条例で定める必要がある。		
適法性	根拠法令がある場合、その法令に抵触していない。	はい	土地収用法第34条の7第2項		
	憲法、その他の法令等に抵触しているとの評価を受けるおそれはない（近年の判例動向に適合している。）。	はい			
	条例に規定する事務手続と実務上の事務手続との間に食い違いはない。	はい			
有効性	条例の目的と条例に規定する手段との整合が図られている。	はい	三重県事業認定審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定めたものであり、整合が図られている。		
	条例の目的は、県民ビジョン等と整合している。	はい	行政運営8 公共事業推進の支援		
	条例の規定の一部であっても、効果を疑問視する評価を受けたことはない。	はい			
	条例の規定の一部であっても、廃止した場合に明らかな支障が認められる。	はい	土地収用法第34条の7第2項の規定に基づき、必要な事項を条例で定めているものであり、一部であっても規定を廃止した場合、県の行政運営に支障が生じる。		
効率性	条例の目的の実現のために、条例が定める手段は必要であって、廃止すべき規定はない。	はい			
	条例の目的の実現のために、条例が定める手段は十分であって、追加すべき規定はない。	はい			
	関係する法令・条例との間において、条例に規定している手段との重複はない。	はい			
公平性	条例の執行に当たって、その効果及びコストの配分は適正である。	はい			
	条例の執行による効果が一部の県民に限られていない。	はい	手続に事業認定審議会が必要とされる事業認定の処分は、公共の利益となる事業に必要な土地の収用又は使用に関し、国土の適正かつ合理的な利用に寄与するものであり、その効果は全ての県民に及ぶものである。		
	条例の執行に伴うコストの負担が一部の県民に限られていない。	はい			
その他	条例の内容において、県民（団体）、NPO等県以外の主体との連携に配慮している。	該当なし			
	市町等から条文の改正を求める意見を受けていない。	はい			
点検・見直し結果	改正・廃止の必要はない	理由	特記事項	見直しに関する規定の有無	有効期限に関する規定の有無
		現在の規定は、要件のいずれをも満たし、改正の必要がないと考える。		無	無